

## 浜松観光ボランティアガイドの会

### 県外小学4年生の校外学習への対応

10月17日午後3時～4時まで、ザザシティ5階集会室にて、茨城県開智望小学校4年生24名（他に引率4名）への「浜松の産業等」についての講習が行われた。

今回、浜松案内人としての取組としては珍しいケースと思われる、その現場取材した。

当該校は、つくばみらい市にある学校法人開智学園（本部は埼玉県にあり、名誉学園長がノーベル賞



熱心な学習風景

受賞者の大村智氏、小中高一貫校等いくつかの学校がある）の小学校で、「質の高い挑戦的な国際プログラムに信念をもって取り組む」という理念を持って運営されているとのこと。そして学習方法として教科の枠を超えた「探究」という科目があり、今回9月からの2ヵ月間で「生産活動は人々をつなぐ」というテーマを学ぶために、浜松を対象として「繊維産業」「自動車・オートバイ産業」「楽器産業」について、人々の役割とその関係性・つながりについて把握することが目的。そのため17日から3泊4日でそれぞれの産業について、訪問し、見学し、話を伺う予定とのこと。

ついでに、最初、浜松案内人に浜松の全体的なことを伺いたいとの申し込みがあり、これに対し北ブロックの西村プロ

ック長及び田村事業部長が講師として対応された。

当日、一行は新幹線由来浜、浜松城を見学した後、当会場まで来られた。最初の挨拶の場面でNHKテレビドラマ「おんな城主直虎」を見ている方はどの問いに、4人ほどが見ているとのこと。

講師は、浜松精神の「やらまいか」とはどういうことか、浜松の面積・地形・人口等の状況はどうなっているか等全般的な話から入られた。

次に浜松の産業として、農林水産業の説明。農業で日本一の生産を誇るものとして、ミカン、チンゲン菜、セルリーが挙げられる。林業は、広大な森林面積を抱えており、天竜杉、ヒノキなどの出荷が伸びている。水産業では、浜名湖のウナギ、アサリ、ノリなどの産物もあること。

工業では、三大産業として繊維、楽器、オートバイが挙げられ、浜松で工業が発達した理由をいくつか挙げられた。例えば、東京と大阪の真ん中に位置し名古屋も近く、交通の便が良かったこと。山葉寅楠、本田宗一郎、高柳健次郎等の先駆者が優れた技術を生み出し、産業の基礎を築いたこと等。

また浜松が日本で一番のものとして、電子楽器（ローランド）、管楽器（ヤマハ）、光電子増倍管（浜松ホトニクス）、ゆかた等が挙げられることを説明された。

次に浜松市の発展に尽くした人々として、上記の3名以外に鈴木道夫、堀内平八郎、杉浦睦夫、秋野不矩、木下恵介、天野浩氏等15名を挙げ、説明された。

一行は、この後弁天島のホテルに泊まり、2日を掛けて、楽器博物館、昭和楽器、二橋染工場、静岡濾布、スズキ歴史館、うなぎパイファクトリー、浜松科学館、博物館等を訪問されるとのことで、今回の講義で大変理解が深まったと喜んで帰られた。

今回の取材を通し、浜松案内人として、今までの歴史を中心とした観光ガイドの観点から、広く産業全般を把握したガイドへと意識を広げる必要があると思った。

広報部 植田善和（北ブロック）



メモを取り探究心旺盛の眼差し

## 現地研修「湖北四山と初生衣神社巡り」

10月12日晴天に恵まれ、8時過ぎに29名を乗せたバスがアクト南を出発し、研修部主催の現地研修が始まりました。9時に三方原霊園で27名が乗車し、総勢56名で、先ずは初生衣(うぶぎぬ)神社に向かいました。途中の車内で、大村会長から「仏教の話あれこれ」の話、桶田さん(東ブロック)から浜名総社・初生衣神社の話がありました。

9時40分頃、初生衣神社に着き、鈴木宮司から説明を受けました。1155年創建と言われ、当時から静岡県唯一の伊勢神宮へ御衣(おんぞ)を納めるお宮でした。1801年に建替えられた織殿には古織機があり、今回特別に公開していただきました。

続いて訪れた摩訶耶寺は726年開創、平安時代末期に現在地に移転したと言われます。本堂では天井図等の説明を受けた後、国指定重要文化財である千手観音像、不動明王像などの説明を受けました。

次の大福寺に移動するバスに乗る時に「初生衣」というあんこ巻きのお菓子を頂き、とてもおいしくて研修部の配慮に感謝しました。

大福寺は875年に開創され、1207年に現在地に移転した古刹です。私の班では、川上さん(中ブロック)から建造物の説明を、大村会長からは庭園の説明を受けました。その後、宝物殿で国指定重要文化財の説明がありました。

大福寺を発って、方広寺に向かう途中で、益田さん(北ブロック)から方広寺の見所の説明を受け、12時30分頃に方広寺に着きました。



精進料理の前に食事五観を唱和

昼食は待ちに待った方広寺の精進料理です。しかし、精進料理を頂く前に、「食事五観」を唱和することから入りました。「結構おいしいので、しばらくしたら、また食べてみたい」という方もおられました。

昼食後は大本堂で国指定重要文化財である釈迦三尊像などについて説明を受け、建物内部見学の後、最後に半僧坊真殿で全員で「オンナンノウチリチリソワカ」を21回唱えて、厄難消除、家内安全等を祈願しました。

14時30分頃に方広寺を出て、バスに乗る前に野沢製菓で“大あんまき”を求める行列ができました。しかし、行列の途中で売り切れてしまいました。

宝林寺に行く途中で、鈴木さん(南ブロック)から金指近藤・気賀近藤両家の菩提寺である宝林寺の見学ポイントの説明を受けました。

宝林寺に着くと、住職から国指定重要文化財である宝林寺仏殿前で宝林寺についてや、仏殿の扁額は隠元禅師の書であること、仏殿と山門の屋根はこけら葺きであり、修復中の山門は今月完成するなどの説明を聞きました。

仏殿内で釈迦三尊像などの説明を聞いた後、会員の皆さんは順に金鳴石を叩いて、金運上昇を祈りました。

最後に駐車場から、まだ暑さの残る中、坂道を上って近藤家の墓所を見学し、16時頃に宝林寺を後にしました。

これで、新しい発見にあふれた現地研修が終わりとなりました。

参加者からは「初生衣神社でいにしへの昔からの伝統が今も息づいていることに感銘を受け、四山巡りでは数々の仏像のたたずまいに心癒された」「以前にも回ったところだが、説明を受けて改めて印象深く感じた」などの声が聞かれました。

この研修では、長い歴史が今に引き継がれていることに感慨深いものがありました。また、研修部の皆さんには、素晴らしい説明と周到な準備をしていただき、大変ありがとうございました。

広報部 佐原正敏(中ブロック)



摩訶耶寺本堂にて説明を聞く



宝林寺仏殿前で説明を聞く

## 浜松観光関係優良従業員表彰

10月17日17:00よりオークラアクトシティホテル浜松において、浜松地域観光発展に貢献された13団体から25名が、(公財)浜松観光コンベンションビューローより表彰されました。(ホテル6件、交通4件、他3件)

浜松観光ボランティアガイドの会からは、写真左から、澤井浩司さん(南ブロック)、中村晃さん(中ブロック)、鈴木正身さん(東ブロック)の3名の方々です。豊富な知識のポケットと、おもてなしの気持ちを大切に、日々のガイド活動をされています。

表彰に当たりコンベンションビューローの御室理事長より、大河ドラマ館の来場者が9月に当初の目標値を超え、さらにリピート客を掴むため、各分野での努力の必要性が伝えられました。

澤井浩司さんから次のメッセージが寄せられました。

「今回表彰を受けたのは7期生の中村晃さん、私と8期生の鈴木正身さんの3人です。7・8期生は、入会当時は10数名いましたが、7期生の和久田久恵さん(東ブロック、昨年表彰)を含めて今はこの4人のみとなりました。3人共ブロック長などの役員を経験してきて、表彰を受けるのも会員皆様の協力のお蔭と感謝しています。

これからも活動していきますのでよろしくをお願いします」

「ようこそ 出世のまち浜松へ」楽しく笑顔でのご案内を心がけてまいりましょう。

広報部 藤田礼子(中ブロック)



### ◆お知らせ◆

既にご覧になった方もおいでと思いますが、会報9月号で案内しましたように、「浜松百撰」10月号の「歴男歴女がくっちゃべる直虎」のコーナーに、当会の中野典子さん(広報部・東ブロック)の寄稿文が下記のように掲載されました。



◆お知らせ◆

「平成29年度 浜松観光ボランティアガイド養成講座」を開催します。知り合いの方にご案内ください。

開催案内が「広報はままつ」12月号に掲載されます。

開催日：平成30年1月15日、22日、29日、2月5日、12日、19日の6日間（各月曜日）

時刻：毎回10時～12時

場所：ホテルコンコルド、浜松城、家康の散歩道等

定員：20名 ※講座終了後ガイド可能な方（月3回以上）

受講料：1,000円

申込締切：住所・氏名・TEL・FAX・メールアドレス（携帯でも可）を記入の上、12月31日（日）までに下記へ葉書またはFAXで。

申込先：〒432-8053 浜松市南区法枝町310-2 鈴木 宛

浜松観光ボランティアガイドの会事務局 TEL・FAX 053-442-1755

10月のガイド活動 《明るく楽しくやらまいか》

「浜松城」・「犀ヶ崖資料館」・「浜松まつり会館」にて、来場者にガイドを行っています。また、この3箇所の他に「浜松駅観光インフォメーションセンター」や「家康の散歩道」同行ガイド、各種イベントとタイアップしたガイドなど幅広く活動しています。

《浜松城》

複数回来場のあった団体		
* 阪急交通社	25回	1,093名
* MST	9回	266名
* クラブツーリズム	6回	198名
* 美波幼稚園	2回	130名
* 東信年金受給者協会	2回	60名
* 南の星幼稚園	2回	35名
2日 月 藤市立第一中学校音楽		40名
5日 木 曳馬小学校		122名
	菊川市立小笠南小学校	36名
6日 金 東年連調布支部		40名
	日耐すえひろ会	34名
8日 日 楽しく歩こう五街道		57名
9日 月 大伸工業株式会社		42名
10日 火 JA 福岡市東部福岡支店年金友の会		34名
12日 木 笠井小学校		68名
15日 日 岐阜乗合自動車(株)団体営業部		43名
	東海バストラベル沼津旅行センター	40名
17日 火 名東鮫友会		45名
18日 水 八正倶楽部		85名
	可児市読書サークル協議会	47名
19日 木 敦賀地区 友の会		67名
21日 土 (株)協進印刷		58名
22日 日 越後獅子の会		35名
23日 月 新田地区民児協		35名
24日 火 西保育園		47名

24日 火 富塚西小学校	34名	
26日 木 広沢小学校	162名	
	JA大阪年金友の会	60名
27日 金 入野小学校	96名	
	大和ハウス工業(株)大阪都市開発部	53名
29日 日 松尾まなき後援会	120名	
30日 月 大田原市民号	70名	
	年金旭分会	38名
*	上記以外に32名以下の80団体	1,449名

《犀ヶ崖資料館》

5日 木 笛吹市文化協会石和郷土研究会	23名	
	曳馬小学校	60名
6日 金 茨城県つくば市史友会	12名	
17日 火 北浜中学校	4名	
19日 木 犬居小学校	7名	
20日 金 聖隷デイサービスセンター住吉	15名	
26日 木 広沢小学校	163名	
	名古屋ツーリズム	41名
27日 金 入野小学校	50名	

《浜松まつり会館》

16日 月 大瀬小学校	65名	
25日 水 志賀町区長会(トラベルアイランド)	65名	
	30(さんまる)会(名鉄観光)	25名
28日 土 JA 大井川高洲支店女性部	23名	
30日 月 広沢小学校	150名	
	村中校区区長OB会(農協観光)	41名

はままつ案内人会報 188号

編集・発行 浜松観光ボランティアガイドの会

〒430-0946

浜松市中区元城町100-2 (浜松城内)

TEL & FAX 053-456-1303

ホームページ <http://www.hama-svg.jp/>

浜松観光ボランティアガイド

検索

